

# 会 議 録

|   |                               |
|---|-------------------------------|
| 会 議 の 名 称   | 第1回 本荘地域協議会                   |
| 開 催 日 時   | 平成21年7月21日(火) 午後2時00分(～4時10分) |
| 開 催 場 所   | 由利本荘市役所「正庁」(4階)               |
| 出 席 者 氏 名   | 「出席者名簿(網掛け)」のとおり              |
| 欠 席 者 氏 名   | 「出席者名簿」のとおり                   |
| <p style="text-align: center;">会 議 次 第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 委員紹介・委嘱状交付</li> <li>3. 市長挨拶</li> <li>4. 会長・副会長の選任</li> <li>5. 会長・副会長挨拶</li> <li>6. 説 明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治区、地域協議会等について</li> </ul> </li> <li>7. 協 議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・由利本荘市定住自立権構想について</li> <li>・公の施設の見直しについて</li> <li>・今後の本荘地域協議会の運営方針について</li> </ul> </li> <li>8. そ の 他</li> <li>9. 閉 会</li> </ol> |                               |
| 会 議 の 経 過   | 別紙のとおり                        |

# 本莊地域協議会委員名簿

出席者: 網掛け

| 役職  | 氏 名     |
|-----|---------|
| 会 長 | 村 岡 兼 幸 |
| 副会長 | 本 間 達 雄 |
| 副会長 | 東海林 京 子 |
| 委 員 | 山 岸 鐵 二 |
| 委 員 | 若 林 徹   |
| 委 員 | 関 口 隆 史 |
| 委 員 | 齋 藤 久 一 |
| 委 員 | 今 野 勘一郎 |
| 委 員 | 斉 藤 良 明 |
| 委 員 | 小 松 賞   |
| 委 員 | 今 野 忠 志 |
| 委 員 | 初 瀬 東 一 |
| 委 員 | 佐々木 豊   |
| 委 員 | 磯 貝 道 子 |
| 委 員 | 遠 藤 誠 助 |

| 役職  | 氏 名     |
|-----|---------|
| 委 員 | 吉 田 朋 子 |
| 委 員 | 小 林 祥 子 |
| 委 員 | 横 田 剛   |
| 委 員 | 中 村 スメ子 |
| 委 員 | 榎 本 義 孝 |
| 委 員 | 小 川 征 雄 |
| 委 員 | 今 野 忠 男 |
| 委 員 | 岡 田 邦 雄 |
| 委 員 | 佐 藤 はつ子 |
| 委 員 | 大 嶋 順 子 |
| 委 員 | 吉 川 充 子 |
| 委 員 | 菅 原 真 理 |
| 委 員 | 高 橋 徳 之 |
| 委 員 | 小 松 萬 毅 |

## 平成 2 1 年度 第 1 回本荘地域協議会 行政出席者名簿

### 由利本荘市（ 2 名）

|   | 職 名          | 氏 名     | 連絡先   | 摘 要 |
|---|--------------|---------|-------|-----|
| 1 | 理 事          | 猿 田 正 好 | 3 1 3 |     |
| 2 | 企画調整部<br>部 長 | 小 松 慶 悦 | 3 0 2 |     |

### 協議案件説明者（「公の施設の見直し」説明部局 2 名）

|   | 職 名               | 氏 名     | 連絡先   | 摘 要 |
|---|-------------------|---------|-------|-----|
| 1 | 行政改革推進本部<br>局 長   | 佐 藤 良 夫 | 6 4 1 |     |
| 2 | 行政改革推進本部<br>次長兼課長 | 真 坂 誠 一 | 6 4 3 |     |

### 事 務 局（ 4 名）

|   | 職 名                        | 氏 名     | 連絡先   | 摘 要 |
|---|----------------------------|---------|-------|-----|
| 1 | 企画調整部企画調整課<br>課 長          | 大 庭 司   | 3 5 0 |     |
| 2 | 企画調整部企画調整課<br>参事兼地域づくり推進室長 | 袴 田 範 之 | 3 6 3 |     |
| 3 | 企画調整部企画調整課<br>地域づくり推進室主査   | 高 橋 和 幸 | 3 5 7 |     |
| 4 | 企画調整部企画調整課<br>地域づくり推進室主査   | 山 住 賢 一 | 3 5 7 |     |

## 会議の経過

### 第 1 回 本荘地域協議会

平成 2 1 年 7 月 2 1 日 ( 火 )

午後 2 時 0 0 分 開会

4 時 1 0 分 閉会

#### 1 . 開 会 ( 進行 : 袴田 参事 )

#### 2 . 委員紹介・委嘱状交付

- ・はじめに委員全員を紹介 ( ~ 袴田 参事 )
- ・市長が各委員を回り委嘱状を交付

#### 3 . 市長挨拶

##### 長谷部市長

第 2 回の域協議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

ただ今、委嘱状を交付させていただきましたけれども、委員の就任にあたりましてご快諾を賜りましたことを、心から厚く御礼を申し上げます。この 4 年間一つよろしく願いを申し上げたいと思います。

私は、この 4 月 1 7 日に、由利本荘市の 2 代目の市長として就任させていただきました。3 ヶ月余りが経つわけではありますが、皆さんもご承知のとおり、百年に一度と言われる経済不況の中で、この由利本荘市も大変大きな打撃を受けている訳ではありますが、今様々な時代が錯綜している中で有りますけれども、特に景気あるいは雇用対策に全力を上げて、市民生活の向上のために頑張っておる所でございます。現在本荘地域におきましては、由利組合総合病院の跡地の総合文化施設の建設、或いは、由利橋の架け替え、更には区画整理事業など、計画に基づいてさまざまな事業を展開しているところでございます。今後の市政の運営に当たりましては、協議会の皆さんからの貴重な意見を踏まえながら、市政運営を展開して参りたいと思いますので、どうぞ一つ忌憚のないご意見を賜れば、非常にありがたいと思います。私は、選挙の際にも申し上げましたけれども、行動する市長として、現場に足を運んで市民の皆さんの生の声を直接聞きまして、市民と共に歩む市政の実現を目指して、頑張ってお参りたいと思いますので、今後とも協議会の委員の皆様からも深いご理解とご指導を賜りますようお願いを申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

##### 職員紹介

出席職員と本荘地域協議会事務局体制について説明 ( ~ 袴田 参事 )

#### 4 . 会長・副会長選任

##### 事務局 ( 企画調整課 大庭課長 )

2 期目に入りまして委員の数も、5 0 名から 3 0 名に調節していただきまして、皆さんの 1 人 1 人のご意見を拝聴したいと考えておるところでございます。設置条例によりまして、会長・副会長を置くこととなっておりまして、前の 4 年間におきましては、会長 1 名、副会長 5 名をおいておりましたが、今回 3 0 名という委員でございますので、事務局としては会長 1 名、副会長 2 名という布陣で、

進めて参りたいと考えてございますが、それについて皆様からご意見等をお伺いしたいと存じます。何かご意見等ありましたらよろしくお願い申し上げます。

**Ｊ委員**

事務局の方で選任について腹案がありましたらお聞かせをお願いいたします。

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

まず、会長１名、副会長２名という事については、よろしいことでしょうか？

**委員全員**

異議なし

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

それでは、会長１名、副会長２名という事でございますが、事務局といたしましては、今までの４年間の経過、数々の協議会の会議状況等を踏まえますと、村岡兼幸さんを会長にと考えておったところであります。副会長２名ですが、東海林京子さん、それから本間達雄さんを副会長と考えているところであります。事務局としての提案であります、皆様からご意見等がありましたらよろしくお願い申し上げます。

**Ｊ委員**

今事務局の方からの腹案に対しては、全く私は賛成でございます。但し、今日村岡さんが欠席でございますので、その辺は何か事前に村岡さんの方への了解といたしますか、打診をしているのでしょうか？

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

はい、村岡さんにつきましては今日、ご案内のとおり欠席でございます。村岡さんからは、もしこのような腹案で賛成を得られるようであれば、会長職を受けたい旨を内々にご了解を頂いてございます。そのことをこの席で皆様にご紹介申し上げたいと思います。以上でございます。

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

異議なしでよろしいでしょうか？

**委員全員**

異議なし

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

ありがとうございます。

それでは、先程申し上げましたが、今日村岡委員は欠席でございますけれども、副会長の本間さんと東海林さんは、前の席の方にお移り下さいますようお願い申し上げます。

**５．副会長挨拶**

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

大変急なことで恐縮でございますけれども、村岡会長さんが欠席と言うことでございますので、本間副会長さんの方から、今日の進行役をお願いしたいと言うことと、ご就任に対しましてご挨拶をお願いしたいということで、よろしくお願い

いします。

### **本間達雄副会長**

まず私、この度副会長に任命されました、本間でございます。どうぞこの期間中よろしくお願い申し上げたいと思います。なお、会長の村岡さんは大変お忙しい方で、特に今回は忙しくなっているので、その様な事があった時には、会長を辞退したいとお話ししておりましたが、村岡さんは、皆さんもご承知のように、大変有能な方でございますので、その時点で色々忙しいときがあった場合は、私が会長のサポートするからと言う話しをしておりました。この度こういう場面になりましたので、私の役目かなと考えております。尚、1期目の地域協議会は、本当に手探り状態で、何をどの様にすればよいのかということで、まず皆さんの話し合いの中から進んで入ったと思います。また、その中で段々見えてきたものを、今後、是非、市の発展のために私共が提案していきたいと思っております。この度新しく長谷部市長さんになられまして、色々取り組まなければ行けない事がたくさんあるかと思えます。そういう意味で私共がやり易い市政を進めて行くためのアイデアを、私共が出して行かなければならない、と考えている次第であります。どうぞ皆様方の忌憚ないご意見等、提案をたくさん頂いて、是非、この地域協議会が市民の方々のために、充分に役立つ様な協議会に持って行けばいいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### **東海林京子副会長**

会長さん、副会長さんの足を引っ張らないように、私もできる力の範囲内で努力していきたいと思えますので、皆さんよろしくお願い致します。

～ 副会長挨拶のあと、市長退席 ～

## **6. 説明**

### **・地域自治区、地域協議会等について**

#### **事務局（企画調整課 袴田参事）**

配布資料（条例・規則）により説明

### **議長**

今説明ございました中でちょっとお分かり難いところがあるかと思えますので、そここのところだけお話ししたいと思えます。実は各旧町にも各地区のそれぞれ協議会がございます。それぞれ協議会の中にやはり会長・副会長がいらっしゃるわけで、作った当初はそういう各連絡協議会みたいなものがなかったのですが、その後各地区の会長・副会長が集まって、そしてそれぞれ意見を交換しあうという場を、2年目当たりから行っております。今回も多分そうゆうふうな事になると思えます。年に1、2度そういう会を開催致します。

それから、今ひとつはですね、この地域協議会が一番最初にできた頃は、特に、この地域ではありませんでしたが、他の地域から、この地域協議会で話し合われたことがですね、殆ど要望的な事が多かったんですね。要望的なことではなくて、市に対する提案みたいなものであって欲しいですね。ともすればですね、各地域であれ欲しい、これ欲しいという話しばっかりになってしまう。これでは何もならないわけで、是非そういう話し合いでなく、もう少しこうすればこんなことができるだろうとか、お互いに能率が上がるだろうとか、事業の運営についての無駄を排除するとか、そういう提案を是非していただきたいと思います。

それから、前回の50人定員から今回は30人に減りました。実は前回の地

域協議会の場です。前半の2年間は大変出席率が高かったんです。ところが後半の2年間は出席率が段々悪くなったんですね。お出でにならない方が増えてしまったということが上げられます。これは大変事務局の悩みでありまして、やはりお忙しい方々がここに集結されていらっしゃるの分かる訳ですが、是非その所を万障繰り合わせて欠席ならないように、出席していただく。そういうふうな事をお願いしたいと思っております。そういう意味で、今後この4年間は大変長うございますが、何とか最優先に考えていただいて、出席いただきたいと思います。

初めにこういうお願いで申し訳ございませんが、会を始めさせていただきます。それでは、協議に入らせていただきます。

## 7. 協議

### ・由利本荘市定住自立圏構想について

#### 協議案件説明者（企画調整課 大庭課長）

事前配布資料（定住自立圏構想策定に向けての説明資料）に基づき説明

#### 議長

私もそうなんですが、行政の方々と違って、事業の関連と言うことがなかなか飲み込めないんですよ。多分皆さんもわかり難いかなという感じが私にしたわけです。できれば箇条書きにして、今おっしゃった事をとりあえずでいいですので、前半位のところを、文字にして皆さんのところに今後の資料として理解度を深めるために、ちょっとそういうふうに変えていただけたらありがたいことです。なかなかつかみ所のないと言うのでしょうか、理解できないのかどうか分かりませんが、できればこんな感じでこうだ、というような事をちょっと作ってもらえれば、もっと分かると思うんですよ。とりあえず解説書みたいなものがないかと思うんですが。

#### 協議案件説明者（企画調整課 大庭課長）

実は説明しながらもわかりずらいだろうと思いつつ説明していました。

#### 議長

前半の方に、構想についてのところがありますよね。そこら辺のところではまいち理解しにくいところがありましたが、そこら辺のところを箇条書きに、できれば大きめの字で、こういう事だと言うことで書いていただけたら大変分かりやすいなと思います。

#### 協議案件説明者（企画調整課 大庭課長）

分かりました。

ちょっと補足いたしますが、ここに2ページ・3ページに上げている事業が、人がいっぱい住むようなことをするために、こういう事をしたらいいんじゃないかとか、ああいうことをしたらいいんじゃないかという事を、市側の職員で考えて拾ったものなんです。今日は本荘の地域協議会なので、本荘の方々はあまり普段考えていないと言うか、気が付いていない事だと思います。ただ町の方々にっては、やれあれが不便だとかこれ不便だとか、こんなのが良いのかとか、実際出てきています。本荘の方々の考えではなく、町の方々の身になって、例えば、自分が本荘に行く時には、これがあればいいなあとか、こういうシステムがあったらいいもんだとか、そういうふうなことが、もし気がついた事があったらご提案していただきたいということが主旨なんです。

## D 委員

田園など農業生産地域という定義がある様ですけれども、この辺の方々の交通の便をどうするため、というところですが、この資料には、国道県道へのアクセスをスムーズにするということ、鉄道の駅などのバリアフリー化をするというものがありますが、ここで昔のことですけれども、新潟県にですね、私の実家では無いのですけれども、親戚があるんですが、直江津から東、柏崎から南。ここら辺の山の中ですよ。通勤通学が柏崎か直江津に出かけるので、当時田中角栄総理ですけれども、交通の便を良くする。実際には自動車関連道路を非常に良く整備したんですね。交通を便利にすれば、通勤・通学が楽であろうということで始められた訳です。その結果どうなったかと言ったら、当初はこころ良く通勤していた様ですけれども、直江津や柏崎に移住するために引っ越していく人が増えてしまって、その山の中はいっそう過疎になった、ということのようです。この、園農業生産地域ですか、そういう方々の便宜を図って交通の便を良くすると、そちらの人口が中心の本荘に集まる。現実にも今までもそうでしたけれども、さらに7号線と新幹線で、羽越線が新幹線となる。そういうのがつなげると本荘地域の人も反対に吸い取られてしまう。そういうことが起きるだろうと思うんですけれども、そこらへんはどのようにお考えでしょうか？

## 協議案件説明者（企画調整課 大庭課長）

今、D委員がおっしゃった事は、いわゆるストロー現象という言葉で言うんですけれども、例えば新幹線が仙台から盛岡、今度八戸にできるわけですけれども、そうすると八戸まで行くと、八戸の方が便利になってしまうのはいいんですが、八戸から今まで東京まで5時間かかっていたものが、3時間になると、八戸で買い物していた人達が東京に行ってしまうとか、そういう現象になるんだと思います。同じ考え方だと思います。今までは、なんと遠いなと思っていたものが、近くになることですから、飛び越えて東京に行ってしまう。例えば、高速道路ができれば仙台に買い物に行くということだと思うんです。今まで秋田・本荘で買い物をしていた人達が、同じ2時間で行くような高速道路ができればそういうことだと思うんです。それはよく言われていることなので、その地域の新しい魅力と言いますか、その地域に特化した魅力を作っていくことで、それが一つの手段となって行くと言われておりますが、実際に言われたことの様な現象であると言う事は否めない感じが私もしております。でも、そう言いつつも周辺の人達からは、とにかく良い道路にしてくれと言う意見を多く耳にしますので、私たち行政としては、そういうものをきちんと整備して行かなければならないという気持ちであります。

## D 委員

今の話しですね、東由利地域は横手に引っ張られないで本荘に引っ張られて来るという効果が出てくるんですね。それともう一つ別の話で、これは何年前の事ですかね、30年、40年も前ですかね、アメリカの地域にですね、今は双方向テレビと言うんでしょうか、正しい名前を忘れてしまいましたが、あの頃はツーウェイ・コミュニケーションと言ったんですけれども、そういうテレビを1台置いて、受像機の下に引き出しが付いていて、そのテレビにロボットの手が付いているんです。患者さんがそこに座るとテレビにお医者さんが出て来て、対話しながらそういう治療をしていると聞きましたけれども、今の発表されましたこの企画によると、お医者さんが出向いて行かれる様な小さな診療所の様な建物だけ作って、そこに定期的に出向いて行けばいいんじゃないかを書いてあったと思うんですけれども、そういうことができないのでしょうか？



**協議案件説明者（企画調整課 大庭課長）**

非常にありがたいご提言でありまして、実は私たちの方も、いわゆる行政側の方からも同じような意見がありました。ところが医師法の法律の関係で、そういう事は、お医者さんに直接じゃないと遠隔の事はできない。非常に残念ですが、同じ考え方で出してみましたが、残念ながらそれはできないと言うことでありました。

**D 委員**

治療代のやり取りの方でできないと、そう言うことですか？

**協議案件説明者（企画調整課 大庭課長）**

直接お医者さんとやり取りしなければならないということになっており、大変残念であります、できない様です。

非常にありがたいご意見であります。

**議長**

この辺で休憩をさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか？  
それでは若干休憩いたします。

～ 休 憩 ～

**議長**

それでは会を開会いたしたいと思います。  
事務局お願いします。

**協議案件説明者（企画調整課 大庭課長）**

今日皆様に、お示ししましてもこれを直ぐ・すべてと言う事は困難な話しでございます、いずれ市としましては、こういう案を持って今後進めて行くんだというふうな事であります。色々と事務局としても協議・相談しながらやって来たところですが、9月議会には提案しなければいけないという時間的制約がありまして、例えば伺いでもっとこうしたことだとか、こういうふうなことも考えてはいたんですけども、スケジュールの点で今年特にこの会が改選になったことがありまして、今後の事についても今日提案しました2ページ3ページに書いて有るような事業が中心になって進めて行きますが、それに類した事で、もし委員の方々にこんな事もあったなと言うことが今後、自宅の方に帰られましてから、気づいた事がありしたら、8月お盆前位の間に、事務局の方にご提案していただければ、私たちも総合支所とやり取りしてますので、固まったところは固まっておりますので、プラスアルファとしてご提示ありましたらお願いしたいと今感じているところで有りますので、その辺でご理解していただきたいと思います

**議長**

ただ今お話しが有りましたように、構想については、この後皆さんお帰りに成ってから、良いアイデアも浮かぶかもしれませんので、その場合は是非事務局の方にお知らせいただけたらありがたいと思います。

それでは次に進ませていただいてもよろしいでしょうか？

それでは次の公の施設の見直しについてというところで有ります。

この度新任で委員になられた方にお知らせいたします。この会は専門部会を設ける事ができるということになっておりまして、公的施設の専門部会の意見書を

踏まえての見直しと言うところで有ります

### ・公の施設の見直しについて

**行政改革推進本部 佐藤局長 挨拶**

公の施設の見直しにつきまして、資料等に基づきます説明の前に、若干経緯等についてお話しさせていただきますが、市が管理しています公的な施設は、合併前の市或いは町で整備しました施設が全てそのまま新市に引き継がれておりまして、こういった市役所、あるいは総合支所、観光管理施設、スポーツ管理施設など全てのものを含めるとおよそ800位の施設になるだろうと思っております。このように非常に数の多い状況にあるということが一つございます。それから、市がこのような多くの施設を管理することに成りますので、施設のあり方或いは使用料などについて色々問題もございまして、これらの課題を整理することや、検討を行わなければならないというふうなことで、市役所内部では以前から検討していたところでございます。今回この施設の見直しに関します基本方針或いは指針と言ったものが固まりましたので、あらかじめ地域協議会の皆様に見直しの必要性或いは考え方についてご説明を申し上げ、この後のご理解とご協力をお願いしたいと思っております。今年の2月に地域協議会の方から施設の利用料も含めまして公の施設のあり方につきまして、ご意見或いはご提言をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。具体的な内容につきましては、担当課長の方から資料に基づきまして若干説明させていただきます。

**協議案件説明者（行政改革推進本部 佐藤局長）**

事前配布資料（公の施設の見直しについての説明資料）に基づき説明

**議長**

どうもありがとうございました。

特に今の説明がありました施設についてはですね、やはり街の声を拾い上げる。それから、その施設に訪問して、その施設の状況を見る。こういう事は必要だと思いますので、是非一つこの実施計画にこのところを拾い上げていただいて、今後こういう会の中での話し合いに取り組んでいただきたいと思います。町の方へお願いいたします。過去にですね、実は、どこそこの風呂とどこそこの風呂はすごく値段が違うみたいですね。ですからこれは由利本荘市が一つになった今でも差が出るということですか、同じ風呂に入るのにどうしてこっちが高いのかといったことがありました。そこら辺の事も併せてですね、一つ心に留めていただければ大変ありがたいと思っております。

それでは時間が無くなりましたので、次に移らせていただきます。

今後の地域協議会の運営方針について、事務局お願いします。

### ・今後の本荘地域協議会の運営方針について

**事務局（企画調整課 地域づくり推進室 高橋主査）**

配布資料（第1期：本荘地域協議会における分科会及び専門部会の設置状況）により説明

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

いずれ第1期の分科会及び専門部会はこのような状況であります、今回2期目に入ります皆様方においては、この分科会方式をとられる方向で進むのかどうかという当たりについて、ご協議お願い申し上げたいと思います。その辺についてご意見をお願いいたします。

**議長**

これは、事務局の方でどう言う方向で思っているんですかね？事務局の方でこういう方向で行きたいなと言うのが有れば、それに対して意見を出した方が非常に良いと思います。

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

事務局といたしましては、昨年が50名の委員、今年から30名というふうな委員でありますので、できれば30名であれば、一括で進めて行ける範囲ではないのかなと思ってはおりますが、必要ということであれば、それはそれで対応していけると考えております。

**議長**

前の委員になられている方も経験されておられると思いますが、前は3分科会に分けて、それぞれの分科会で話し合いが行われましたが、今資料に出てくるのがだいたいまとまって来てるんです。私としては、全体会を分科会として良いのではないかとそういうふうに考えております。分科会について今後運営の仕方についてご意見ありましたらお願いしたいと思います。

**議長**

実は前回の場合ですね、3分科会にはばらつきがありましたよね。分科会には欠席の多い分科会があったんですね。そうするとその分科会はなかなか少数意見しか出てこないという格好になりまして、そう言うことも有るもので、細かく1期目は分けましたけれども、2期目は全体でやって見ようではないかと、こういうふうな事務局の考え方の様です。

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

1期4年を考えている訳ではありません。まず今年は無しでやりましょうとか、1年やってみて来年は分科会でやってみましょうとか、今年1年間は分科会作ってみて、来年は作らないとか、ということもありだと思しますので、1年1年で考えていただきたいと思います。

**議長**

それでは、いかがでしょうか？まずスタートは全体でやって、その中で、やはり分科会として分けた方が良さだろうと、そういうふうになった時点で考えた方が良さじゃないだろうかと思います。それでは、スタートは全員がここに集まってですね、そして色々話し合いをいただければ、その方がよろしいかと、そういうふうにしたいと思いますけれども、よろしいでございますでしょうか。

**委員全員**

賛成

**議長**

それでは、そういう条件つきで全体的に会を開く、そういうふうなことにしたいと思います。ありがとうございます。

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

専門部会の関係ですけれども、今のところ特別こちらからお願いしたいような事項はないので、若干時間を頂いてその必要性が生じた時点で、会長・副会長さ

んとか相談しながら、専門部会の設置について考えて行きたいと思っていますので、その辺のご意見をお願いいたします。

**議長**

今事務局案と言うことでできましたけれども、その部会については今後事務局と検討して、会長・副会長と相談して、専門部会の方は必要に応じて立ち上げる、というふうな事にしたいと言うことでございましたが、それでよろしゅうございますか？

**委員全員**

賛成

**議長**

ご意見が無ければその方向でさせていただきます。

一通り説明が終わりました。全体的に何かご意見がございましたらお願いします。

**８．その他**

**事務局（企画調整課 大庭課長）**

その他になりますけれど、地域協議会のあり方等について、事務局から一方的な部分が有るのではないかと、私共もちょっと反省しております。市の方で地域協議会そのもののあり方について議論しております。いずれシステム等がまとまり次第委員の皆様方にご提示をして、今後４年間ですが、少し活発な方向があるのではないかというふうなことも思っておりますので、後ほどご提案したいと思っております。いずれ今の段階では、ここまでしかお知らせできないんですけれども、その辺を少しお含み置きをお願い申し上げたいと思います。それから、資料４は、今年度の主要事業と言うことで、市が実施して行く予定の内容の一覧表がホチキス止めとなっております。この部分で事業を実施して参りたいと思います。最後のところには、地域ごとの部分がありますけれども、本荘地域における６つが大きな事業であると考えてございます。８ページです。参考までにお渡しいたしますので、後ほどご覧になっていただけたら結構かと思います。

**議長**

それでは、一番最後に委員の皆様からなにかございますか？無ければ事務局からお願いします。

**猿田理事**

今日初めての会議では有りますけれども、初めて地域協議会にご参加していただいた皆様も含めて、私も含めてですけども、協議会の持ち方って非常にデリケートであるし難しいというのが現実であります。その割には事務方の方の提案の仕方が分かりずらくて大変ご迷惑をおかけしました。定住自立圏構想につきましてはですね、繰り返し申し上げておりますように、いわゆる国にある程度のガイドラインを示して、地域の皆様方の意見を集約して、それを議会に申し述べて、それを OK していただいたならば、その計画が次・次・次と色々具体的に展開して行く中で、国からの交付金が増額になったり、或いは事業採択が優先的になったと、というような仕組みが展開されますと言うことであります。従いまして、ここに書いておるものが定番でもございませぬし、これに追加がきかないというものでもございませぬし、スタートラインでありますから、そう言ったご理解を頂

きながら、これからのご協議にご参加していただきたいと思います。それともう一つ、公の施設の説明は、ある程度ご理解していただいものと思いますけれども、これが実は一番の難しいところでありまして、財源が実に微妙に絡んで来る部分です。簡単に公の施設を集会施設であるかのように町内に受けてもらえるみたいのような事で言いますけれども、修繕費はどうかとか、維持管理費に光熱費はどうかとかという形で、必ず各集落・町内との具体的な・・・処分が出て来るわけですね。そこで当然のようにOKが出て来ますし、一方では議長さんがおっしゃいましたように、温泉施設（入浴施設）であっても、向こうの地域とこちらの地域では、料金の格差があるということである。これが非常に難しいところで有りまして、その辺を順序だてて整理しながら持って行こうと言うことです。そこをすべからずこの場で全部集約して決めていただこうと言う考え方ではございませんで、そう言う視点にたって関係の集落であるとか、関係の皆様方であるとかと言うところに、きめ細かくご説明しながら、これから協議に入らしていただきたいと言うことなのです。ただ、目標年次をもたないでやってる訳にいきませんもんですから、役所としてはこの件に関しては、これ位の目途に区切りを付けるように頑張っていきたい。協議会にも説明していきたいと言うのが今日の主旨であります。従って、今日初めてご出席いただいた皆様方には、実に分かりずらくて、もしかすれば議長さんが最初におっしゃったとおりに、最初の出席率は良いけれども、後々、だんだん出席率が悪くなるというのは、今日スタートしてみても心配なところも有りますけれども、決してそう言うことばかりではなく、住民の皆様方のご意見をいただく場としての設定としては、我々には重要で有るし、そういう認識をもってあるんですけれども、受け止めていただくのを間違っでは困るのですが、全てが役所のやることの議論の場のステップに過ぎないと、逆に言えば住民の皆様方には地域協議会に説明したからやっておけば、次のステップに進んでも良いんだと言うような考え方に、とらえられ間違えられるところが有るわけです。そうあんまり神経にとらえられますと地域協議会のそのものの活性化がなりませんし、議論がおもしろく無くなるということです。従って時間は掛かるかもしれませんが、一定限度ゆっくりと皆様方で、旧本荘地域の諸問題をあういう事も話してみたい、こういう事も話してみたいと言うことをじっくり練り上げていただいて地域協議会の独自の話し合いに成りたい。その視点みたいなものを少しづつ練り上げて、私共に新たなアイデアをいただけるように、力を貸していただければありがたいというふうに思います。これから、しばらくのお付き合いをいただくことに成りますので、こりないでどうかこれからもよろしくご協力を賜りますようお願いしたいと思います。ありがとうございました。

## 議長

それでは、皆さん、今日全体の流れと言うことで、それぞれについて説明がございました。この資料の内容についてですね、日々の情報をこの場にお持ちいただければ大変ありがたいと思っております。

7月13日の日に南相馬市の地域協議会のメンバーの一行が視察に参りました。南相馬市というのは新しくできた名前でありまして、1市2町が合併しました。対等合併で有りますけれども、1市、町名を忘れてしまいましたけれども、1方の町の地域協議会で有りまして、県によって違うのかなと思うんですが、それぞれここは町だと言いますので、例えば由利本荘市東由利町、由利本荘市矢島町というようになってございますけれど、そこは、3つはそれぞれ区になっております。何々区、何々区となっております。その話を聞いた時にですね、実は由利本荘市本荘なんだなと言ったんですよ。私の方は普段本荘市と言っていますが本荘という表現がないもんですから、そう言う意味では他のところは、矢島町とか町と付いているところは町で区分けされますが、本荘は区分けが無いんで

すね。それで区で分けたら良かったかとは思いますが、ただそう言うところが、ここは由利本荘市ということで、本荘だけは表現がしにくいところが有って色々困るなあと感じました。いずれにしろ今日は村岡会長は出席しておりませんが、次回からは出席できると思いますので、皆様から引続き忌憚のないご意見をいただきながら、この会が順調に進んで行く事をお願いしたいと思っております。

それでは、これで終わらせていただきたいと思います。

それでは、長時間誠にありがとうございました。

## 9 . 閉会